

since1995.12
2026年3月発行

社会福祉法人SKYかわさき

〒214-0014

川崎市多摩区登戸 2341-1

TEL : 044-299-6526

FAX : 044-922-6628

HP : <http://www.sky1995.com/>



SKYかわさき通信

第54号

はぶかれる人のいない世の中へ

SKYかわさき理事・ホームSKY所長 嘉門琢美

私事ですが、昨年6月にグループホームへ異動をしたので、1月2日にこの巻頭言をホームで書き始めています。今日お会いできた入居者さんたちの笑顔に、穏やかな年の初めを感じているところです。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

巻頭言の担当になると私はいつも緊張します。何かいいこと、ためになることを書かないといけないようなプレッシャーを感じてしまうので。今、何が書きたいか？

最近一番危惧することは・・・。ちょっと物騒な話をしてしまうようですが、国と国との争いが、日に日に身近に感じられてしまうこと。私は戦争を知らない世代ですが、どうしたら戦争を体験しないままの世代でいられるのか。

私は以前より、所属していた事業所の中でスーパーバイズの時間を頂いていました。多くのことをそこで学び、助けてもいただきましたが、その中で印象に残っている言葉の一つに「福祉職の仕事の一つには“価値を発信すること”がある。」という言葉がありました。決められた制度、法律の枠組みの中で受け身だけで仕事をするのではなく、人権を尊重する生活とは何かを考え、時には決められた枠組みを変えていくための行動も必要、という意味合いだと受け止めています。ソーシャルワーク、と言ってしまうと簡単かもしれませんが、「価値を発信する」という言葉はとても印象に残っています。自分の、または自分の国の利益最優先と高らかに叫べてしまうリーダーが増えたこの時代だからこそ、福祉事業の中で感じる価値を大切にしたい、そう思います。

あるところから私は利用者さんと一緒にいるときに自然と肩の力が抜けて、安らいだよな気持ちを持てるようになっていくことに気がつきました。それはなぜなのか？多分、自分の病気や障害（社会的なものも含め）と向き合い、歩んできた利用者さんの強さが、安心感につながっているのだと思います。人はだれしも弱いところがあり、弱くなる時があります。それを隠さなければいけない社会は苦しいです。誰しもがあることと尊重しあい、弱っている時には支えられ、元気な時や得意なことでは支える、それが当たり前の「はぶかれることのない世の中」。そうすれば安心の輪が広がり、他者を攻撃する必要のない社会につながるのではないのでしょうか。

ここで私の弱さも一つ。こんなわかったようなことを言いながら、最近では「鈍感力」を発動させていることが多くなってしまいました。なんせ情報が多すぎます。一つ一つを考えたり、感じたりしていたら体がもちません。弱っている時には助けをもらいながら、安心と活気のある地域づくりの一助になればと思います。





令和7年度特別委員会報告《水害対策について》

年々、地球温暖化の影響から台風や線状降水帯等、風水害の被害が大きくなる中、今年度は『登戸水害対策特別委員会』を6回開催し、特にグループホーム2か所の避難を中心に検討しました。これまでBCPの作成はしたものの、現実的に「どの段階」で「どのように避難するか」は、予想が付きにくく大変難しい課題であり、さらなる検討が必要でした。第3回特別委員会では多摩区危機管理室の方にご参加いただき、基本的な判断(多摩川の水位等)やタイムライン等のアドバイス頂くことができ、また、近隣の法人の方々には、いざという時のご協力をお願い等情報交換もさせていただきました。大変感謝しております。より現実的なタイムライン作成をホーム以外の職員の役割も含め作成でき、今後は定期的な避難訓練を実施しながら、改めて課題を解決していきたいと思っております。



文責:青野

「現場の課題の見える化」研修を行いました。



令和7年12月、当法人では障害福祉サービス「福祉・介護職員等処遇改善加算」に対応する取り組みの一環として、NPO 法人チャレンジドサポートプロジェクト理事長の松岡泰典氏を講師に迎え、職員向け研修を実施しました。

本研修では、処遇改善加算の制度趣旨、職場環境等要件の具体的な内容、福祉現場における生産性の向上の捉え方を学んだ後、「自分たちの職場の現状・あるべき姿・課題」についてグループワークを行いました。人手不足・役割分担のミスマッチ・会議の長さ・就労事業所の作業の難しさ・高齢化への対応、近隣との関係性などの困りごとがあげられ、どうすればあるべき姿に近づくことができるのかについて意見を出し合いました。また、「丁寧に仕事をするがゆえに時間が足りなくなる」「それは本当に必要な支援なのか？」など支援の質向上に向けた意見交換や、「魅力ある事業所」「利用者の声にきちんと耳を傾けるには」などよりよい事業所づくりに向けた職員の役割を考えるグループもあり、処遇改善にかかる研修に留まらない、日々の支援や働き方を振り返る機会となりました。

講師の松岡氏からは、「福祉現場における生産性の向上は支援の質を高めることであり、人材育成やチームでの取り組み、情報共有のあり方を見直し、職員のモチベーションを高めるプロセスが生産性向上につながる。また、現状の延長線上だけでものごとを考えるのではなく、妄想的でもいいから理想を掲げ現状維持の罟を打破することも大事である」とアドバイスをいただきました。

法人として、今後も職員一人ひとりの声を大切にしながら、制度の趣旨を活かした職場づくりを進め、これらの取り組みを通じて、より良い福祉サービスの提供を目指していきたいと思っております。

文責:大友



ご寄附及び賛助会費 御礼 (令和7年5月1日～令和7年12月31日)

- 麻生やまゆりの会 様 ○坂本 巴 様 ○下麻生自治会 様 ○福岡 貴生 様
 - 税理士法人八木会計 様 ○コウタニ社会保険労務士法人 様 ○クリニックはまだ 様
 - 百合ヶ丘メンタルクリニック 様 ○岡部 健 様 ○生田病院 様 ○泰山木の会 様
 - ケアセンター介護福祉士会 様 ○ゆきわり草 様 ○寺澤 捷 様 ○谷本 勝彦 様
 - きしろメンタルクリニック 様 ○高尾 成美 様 ○坂本 勉 様
 - 合同会社ゆめプロジェクト訪問看護ステーション ウェリナ 様 その他 19 名 合計 38 名
- (申込書・払込取扱票で「掲載可」にチェックのある方のみ掲載させていただいております)
- 計 253,306 円のご寄附をいただきました。お志は大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



画竜点睛

物事を成し遂げるために重要な最後の仕上げという意味のこと。

評議員の皆様のごひとことコーナー

Vol.9



泰山木の会との関わり

評議員 泰山木の会会長 宮澤 たい子

娘の病気が発症したのが今から 33 年前のこと。知識がないだけに何が起きているのか全く分からず、とにかく病院に連れて行かなくてはと、小さいころ内科にかかっていた大学病院の精神科に行きました。薬を飲んでいればそのうち落ち着くだろうとの考えは違っていました。夜中に突然、裸足で飛び出し近所の家に入るなどしたので再度病院へそして入院。数か月経っても良ならず、電気療法を行ったら劇的に回復、その後近くの病院に転院しデイケアにも参加し順調と思われたが、友人関係から調子を崩し入院。それから度あるごとに入退院の繰り返しで 1 年に 1 回 2 0 回にも及びました。

泰山木の会との関りは、30 年前区役所からの紹介で入会。当時は毎週土曜日の午後集まっていた。最初は皆さんの話を聞いているだけで自分からは中々話が出来なかったが、だんだん回数を重ねるようになると打ち解けていき、悩みは同じで自分だけじゃないと思えるようになりそれからは、お花見、新年会、手作り品作成など楽しい行事もあって私の居場所になっていきました。

同居の義母の死後以来、娘の病気・息子の高校退学とひきこもり・私の糖尿病発症は同時進行状態で相談と日々の暮らして精一杯でした。特に息子のひきこもりは過酷なものでした。私の精神も壊れかけていた時に出会った方はとても安心できる方で何でも話を聞いてもらいました。救われたと感じ、事あるごとに相談し乗り越えることを示してくれていて、今でもとても有難い存在になっています。

そうこうしているうちに、息子は自立して家を出ました。娘は入院しないで通院するようになり、親の介添えが必要ですが自分の意見を言えるまでになりました。また訪問看護を取り入れてからは更に色々なことに興味を示すようになりました。

長い道のりでしたが、泰山木の会の会の先輩方にも大変お世話になり会長を引き受けたのも恩返しのためでやらせていただいています。

これからは、会員の皆様とともに泰山木の会に入会して良かったといわれるように考え行動していきたいと思っています。

★令和7年度 第1回SKY研修を行いました★

<令和7年 10月23日(水) 14:00~16:30 参加者43名>

麻生市民館大会議室にて、「令和7年度SKY研修 当事者と協働して働くことについて考える」を開催しました。今回は、最初にSKYの現状を知る必要があると考え、事前に職員、利用者アンケートを実施し、研修委員からSKYかわさきの当事者雇用の現状を報告しました。

次に千葉の流山市で活動している株式会社MARSの中田健士さんから「ピアサポーターとの協働について」お話して頂きました。株式会社MARSは、医療法人社団の宙麦会（ひだクリニック）グループの株式会社で多機能事業所、就労継続支援B型、就労支援事業など展開しており、当初から各事業所でピアサポーターを雇用しており、ピアサポートを活かした雇用のポイント、具体的な事例などお話頂きました。講演後のグループワークでは、感想及び当事者と協働するためのアイデアを話し合い、最後各グループが発表し情報共有しました。



今回は、当事者と協働するという意識を高め、今後当事者雇用を進めていくために何が必要かなど考えていくきっかけになったと思います。感想の中でも「当事者雇用を進める」という法人の目標が職員、当事者と共有され、職員の意識改革につながり、当事者雇用を進めていくためのヒントが得られたなど今後に向けた前向きな意見が多くありました。



研修委員会としては、SKYの利用者と職員が共に考え学んでいく研修を今後も行って行きたいと考えています。

地域相談支援センターひまわり



移転しました！

ひまわりは昨年5月に事務所を移転しました。

柿生駅から徒歩7分のところにあります！ねこ副所長ももちろん一緒です♪



柿生のいい所
知りたいニヤ☆



さくら・ひまわり合同地域ネットワーク会議を開催しました



「軽度知的や発達と精神等の障害が重複し、既存の制度や福祉サービスでは支援に繋がりにくい方々を地域の中で支えていくにはどうしたらよいか、事例を通して地域の状況を共有し、各所で何ができるのかを考える機会とする」をテーマとして、北部地域支援室、北部基幹相談支援センターをお迎えし、当法人の職員も参加のもと、事例報告と意見交換を行う会議をさくらスタジオと共催しました。各所の関わりから共通の課題が見えたり、地域での生活を通して支援者がどのような視点で関わっているのかを知り、考える、学びの多い機会となりました。

地域で暮らす人にはその人それぞれの生活があります。ひまわりでは、その生活に寄り添い尊重するために、今必要なことが何かを一緒に考え、ご本人に考えて選んでいただくため、フォーマルやインフォーマルも合わせた”種まき”ができたかと考えています。また、サービスにつながりにくい方にとっては、数多くの“種まき”の中から、必要だと感じたその時に活用できるものが見つかることこそが何より大切なのだと、皆さまのご意見から気づかせていただきました。そのためにひまわりは地域を知り、つながりを持つことを常に意識していくべきだと改めて感じました。

支援者同士の繋がりも、地域の大切な社会資源です。この会議で作られた小さな輪が、それぞれの輪を作り、さらに大きな輪になり、利用者さんにも安心してもらえる地域の社会資源の一つになればいいなと思っております。

地域活動支援センター きたのぼ

自分たちの活動や経験を伝えて...

今年度は民生委員さんや武田病院OTの皆さん、桜美林大学の学生さんに向けて、きたのぼについてや病気・生活の苦勞などをお話する機会がたくさんありました！今回は一緒に協力し、参加してくれたメンバーの声をお届けします。

6/6 ふれあう訪問ツアー

生田地区の民生委員の方々が見学研修にきてくれました。きたのぼ→紙ひこうき→すみれの順番でご案内しました。

昔から民生委員さんには話をきいてもらったり、お世話になっているので、当日のガイドを務めました！半日歩きまわって疲れた！！でも、他の事業所の人たちにも会えてよかった！特にすみれでは夕ご飯のいい匂いがしてうらやましくなりました。(くうちゃん)

9/9 武田病院OTほっぷすてっぷ

ゆりあすのメンバーと一緒に、入院中の方へ地域で暮らすことについてお話してきました。

体験談の中で自分の症状についてお伝えしたら、関心を持って聞いてくれた方もいた。お役に立てたかな。。。と感じて、嬉しかった。(Mさん)

12/2 桜美林大学講義講師

大学1年生、30人ほどの前で「地域活動支援センターと精神保健福祉士の役割」というテーマで講義講師をつとめました。5人のメンバーが参加しました。

- ・大勢の大学生の前で話すのは恥ずかしかったけど、楽しかった！大学生がおしゃれで素敵だった。(よっちゃん)
- ・仲間の体験談を話している姿がすごかった！学食にも行って楽しかった！(キョンキョン)
- ・どうしたら相手に伝わるか。。。なかなか病気のことを伝えるのって難しいと感じた。仲間の体験談も心に残った。(かな)
- ・教壇から学生をみる経験を初めてできてよかった。カウンセリングを終了するときみたいに日常生活の体験談を軽く話せた。

(長谷川誠)



新商品紹介「ちぎり絵ポストカード」

メンバーのアートの魅力を活かしてポチ袋やメモ帳の製品作りを行っています。今冬からちぎり絵ポストカードも加わりました！

春・夏・秋・冬。。。季節に合わせて作成します。1枚たったの50円！ギフトに一言添える時や、お部屋のインテリアに、ぜひご利用ください♪

ご寄付のお願い！

今年度もビーズやフェルト、生地など、多くのご寄付をいただきました！この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました！大切に使用させていただきます！

また、引き続き**ビーズやフェルトのご寄付を大募集**しております！お家で眠っているけど使える物がありましたら、ご連絡ください！！

きたのぼTEL：044-922-6628



紙ひこうき

地域活動支援センター 紙ひこうき
〒214-0014 多摩区登戸2341-1
TEL/FAX 044-922-3686

紙ひこうきとは… 精神障がいのある方の地域生活を支援する、地域活動支援センターです。自分のペースで来られる憩いの場、自分たちで創り上げる自分らしさの場として活動しています。

紙ひこうき開所20周年記念イベントを開催しました！



～紙ひこうきも、立派に成人しました～

メンバー3名の体験発表、20年間のスライド上映、個人発表、ザ☆チキンハーツライブ、合唱など盛りだくさんの企画で楽しみました

昨年10月17日、紙ひこうきの開所20周年をお祝いし記念イベントを多摩区役所11F「レストランたま」にて行いました。当日はメンバー24名含む、総勢41名の方にご参加いただき、和やかに、にぎやかに、食事を楽しみつつ、みんなでお祝いすることができました。

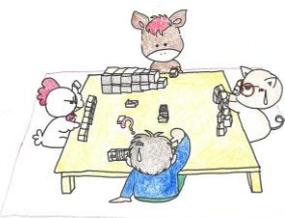
春に実行委員会を発足し、当日まで約10か月間にわたって企画運営に奮闘した実行委員の皆さんに感想をお聞きしました。委員長中島さん「大役果たせました。そうそうたるメンバーが集まって二度とない会ができたと思います」黒須さん「来賓や歴代職員の皆さんが来てくださって、昔の紙ひこうきの話もできて嬉しかったです」吉井さん「何もわからないことからの出発でしたが、皆さんに楽しんでいただけたようでよかったです」。他のメンバーさんも準備から片付けまでみんなで力を合わせ、無事に開催することができました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。次回、30周年でお会いしましょう！

普段は何をやっている？プログラムをご紹介します！（ほんの一部）



音楽紹介の会

参加メンバーが一人一曲ずつ持ち寄って紹介。感想を伝えたり質問したり、和気あいあいと和やかな時間を過ごします。紹介された全ての楽曲は記録に残して閲覧出来るようにしています



麻雀

地域の方より麻雀牌を寄付して頂いたことがきっかけで、新プログラムとして定着。最近ではボランティアさんも一緒に楽しんでいます

映像制作の会

紙ひこうきのHPに掲載されている作品の他、現在は初の試みとして「みんなのポエム」というフォーマットで作品を制作中です！

3月に公開予定なので是非ご覧ください！



ザ☆チキンハーツ

週に1回集まって練習に励んでいます。12/21には「韋駄天カフェ」にてなんと50分のライブを完走。やり遂げました！



ラジオ体操



合唱+健康5分体操+ウォーキング

実は5分ではない体操プログラム。筋トレもやっています。最近では週に1回ウォーキングとして多摩区役所11階まで階段を上るという荒行も。チャレンジしてみませんか？

があでん・ららら

Debut! ハーブティー新メニューが今春デビュー

2019年、東柿生小学校とのコラボで生まれたハーブティー「青春こだわりブレンド」。らららで育てたバタフライピーを使用し、青春を思わせる鮮やかな青色と爽やかな味わいで、今やらららの看板商品となっています。あれから7年、東柿生小学校と再びコラボし、ハーブティーの新作の準備がすすめられています。今回は、やはりらららで育てた「ローゼル」のルビー色の萼（がく）の部分を使用したハーブティーで、子どもたちが最終的なブレンドや商品の名称、パッケージなどを決定してくれる予定となっています。らららでも「ほんのりとした風味が良い」「このままだと酸味が強いのでは」「食事に合いそう」などと試飲・意見交換を重ねました。今春いよいよデビュー予定、乞うご期待です！



メンバーミーティングで
試飲会を行いました

Event 谷本勝彦氏 造形展を開催

10月16・17日、ハーブカフェらららにて谷本勝彦氏造形展「時の流れ～らららと共に」が開催され、2日間で約40名の方が来場されました。谷本さんは、約40年インテリアデザイン活動に従事した後、2008年よりらららのある下麻生地域で造形活動を行っており、これまで数々の個展を開かれています。らららでは、園芸のボランティアで長年活躍してくれています。谷本さんは「らららの内庭で枯れそうだったムクゲの樹を頂いたことから、展示の中心となる『命の樹』の着想を得て、酷暑での準備作業も切り抜ける事が出来ました。皆様と共に楽しいひと時を過ごさせて頂きました事、誠にありがとうございました」と話されました。



Event ららら・冬の風物詩

クリスマスマーケット



12月4～25日、クリスマスマーケットが開催され、カフェの営業する木・金曜の7日間でおよそ250名の方に
ご来場いただきました。地域の方や近隣の事業所が作ってくれたクリスマスのオーナメントやリース、焼き菓子をはじめとして、地元で採れた新鮮な野菜も店頭並び、マーケットを彩ってくれました。



らららが地域で愛され、親しんで頂きながらこの地にあることを実感した7日間でした。出店・来場してくれた皆さん、本当にありがとうございました！

Discussion! 「目安掲示板」で風通しの良い事業所に



らららの母屋のリビングには、昨年度から「目安掲示板」が設置されています。これは、らららのメンバーを中心に『言いたいことを交換しあえる場を作ろう』との思いから設置されたもので、今では月1回のミーティングで、目安掲示板に挙げられた声について共有・意見交換する時間が設けられています。掲示板創設メンバーの一人である武田さんは「発すること、伝えることが苦手な方でも声を届けやすいように、掲示板の形にした。メンバーの生の声を反映していろいろなアイデアを提案したり、情報

をもっと共有したり風通しの良い事業所になったらいいなと思う」と話されました。

があでん・らららの活動に興味を持った方！
ホームページ、インスタグラムも是非ご覧ください



があでん・ららら



ハーブカフェららら



instagram

.....みんなの広場.....

～ SKYメンバーの投稿コーナー ～

SKYメンバーの日常を切り取ったホットな投稿をお送りする「みんなの広場」。
今回も素敵な作品がそろいました！お楽しみください★



プラモデル ザク きたのば かな



ウエルフェスにて かみひこうき やさぐれ まり



何、見てるの?! きたのば ねじねじ星人



手作りシールとラブブおりがみ
きたのば ラビット



かっこよすぎてどうしよう! ~かおりの脳内~
きたのば かおりさん



「アウトレット」 ゆりあす まるちゃん



私の編んだ編み物～毎日血糖値
コントロール頑張っています～
きたのば なんごうひろみ

必ず光はある
自分のココロの中の景色は何？
真っ黒な箱の中。何も見えず真っ黒な闇だろうか
深い深いどこか。光は遙か遠くだろうか
大きな穴。光の場所はわかれど、ただただ見上げるだけでとどかないだろうか
どんな景色を見ている、どこかに必ず光は存在し、必ず光はある
光に辿り着くにはどうしたらいい？
光に向かって泣くか、叫ぶか
光に向かって歩くか、走るか
光に向かって『おーい！』と呼ぶか
光に向かって、はしごはあるか
そのはしごは短いか、長いか
光に向かって手を伸ばせるか
光から手を出せば、掴めるか
誰にも必ず光はある
誰にも必ず光はある
ただそれだけを信じて
光に向かっていく
必ず光の先に見たい景色があるから

「必ず光はある」 ゆりあす ふく

「春の小川」
1965年4月、川崎大師(平間寺)の池の
そばで、しんせきの、おばあちゃんと、娘のお孫
さんと私で、カメを見ていました。すると、
おばあちゃんが、「春の小川は、さざざら
ゆくよ……」岸のスマレヤ、レンゲの花に
姿やさしく、色うつくしく、咲けよ、咲けよと、
ささやきながら」と。なんて、いい歌なんだろう
と思いました。この歌、1912(明治45か大正
元年)だれの作詩か作曲か、わかりません。
1964年の東京オリンピックの記憶は、ないです。
でも、この「春の小川」という歌の記憶は、今でも
覚えています。ただ残念なのは、事件多発の昨今、
この「春の小川」聴かなくなりました。人の心が
スサゴで、現在の事件の多さ、残念です。
何年か、したか、「春の小川」が歌えるような、
国の安泰、人々の、心の幸せが訪れたら、と
せつに、祈るものです。

「春の小川」 ホームSKY カキフライ



「夢」 ゆりあす ちよろみっち



アフリカ人男性
ゆりあす 堀部 誠

40歳、リライ、ニューヨーク州出身。
2002年9月26日撮影当時はInter FMのDJ。
その後、NYのワールドバレーという活動。場所は国町。
思えばこれは僕が1993年の1193元大盗解をゴット
と投稿した時は、ドゥービー・ブラザーズの
What a fool believesがオンエアされたりました。
他には love at first sight (一目惚れ) が7-20時
僕の投稿に彼は 夢についてもう一度考え直して
おいたと言っていました。



あなたに会いたい

前を向いて 歩まっぺり
あなたを 見つめて
立ち止まると 見つめて
足元を踏んで
傷ハートに 時を
痛サロオオオオ
あなたに会いたい
今日も夢の中で
312 見つめて
会いたい

「あなたに会いたい」 ホームSKY めぐみ



「俺、大丈夫？」

ホームSKY Aquirax



SKYtter が始まった10数年前は特段趣味も特技もなく「どうか順番がきませんように」と願っていましたが、今回筆を執らせていただくこととなりました。最近は幾つか好きなこともでき、特にパン作りに夢中です。料理は嫌いですが、パンをこねる動作がとにかく楽しくて、年末年始のお休みには2日に1回はパンを作っていました。ジャオおじさんならぬ、ジコムおばさんを目指して飽きずに続けたいと思う今日この頃です。ちなみに粒あんパンが上手にできた気がします。あと、読書も好きです。図書館で膨大な本に囲まれると、一生かけても読みきれないだろうな、世の中は知らないことで溢れているんだな、と感じます。そう。深海生物の本で知ったハピロフリューネモリスというアンコウには衝撃をうけました。オスはメスの10分の1の大きさでメスの体にくっついて暮らし、そのうちメスの体の一部になってしまうんですって！新しいことを知るのは楽しいですね♪



次回のつばやきは?? ホームSKY伊藤さん



第7回 SORA市を開催

2025年12月6日(土)

12月とは思えない穏やかな陽気の中、今年もウェルフェスと合同でSORA市を開催しました。午前中から顔なじみの方が大勢駆け付けて下さり、その勢いそのまま午後ほとんど人が途切れることなく、盛況の中終わることができました。ホームでの販売ということもあって心なしかいつもよりリラックスした雰囲気の利用者さんと、お客様や参加団体の方との交流が今後の地域づくりの広がりを感じさせる素敵な一日となりました。参加、ご来場いただいた皆様ありがとうございました。



編集後記 セルフレジ、タッチパネル注文などデジタル化が進んでいる世の中・・・最近では初詣のお賽銭もスマホ決済ができるようです。アナログ人間な私には時代についていけない時があります。(や)